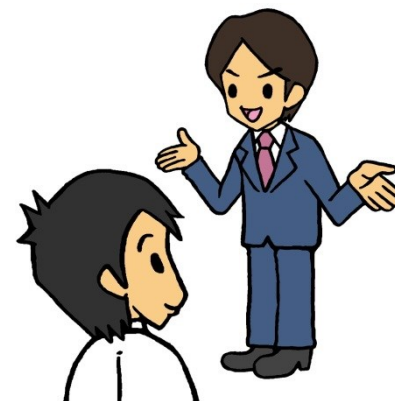


ビジネス・セカンドオピニオンのご案内



Hiro Business Solutions 株式会社

<http://www.hbs.gr.jp/>



- プロジェクト進捗が悪い
- システムの使い勝手が悪い
- 管理業務に疲弊している
- 業績（売上）が伸びない
- 組織や人事制度がうまく機能しない
- 専門領域の良し悪しがわからない



「**セカンド・オピニオン**」とは、よりよい決断をするために、当事者以外の専門的な知識を持った第三者に求めた「意見」、または「意見を求める行為」のことで、主に医療の分野で活用されている手法です。

セカンドオピニオンを実施することは、ファーストオピニオンと敵対するのではなく、ファーストオピニオンの妥当性の確認やより良い方法の探究にもなるものです。同じ方策であったとしても、「どんなリスクがあるのか」「ほかにどんな選択肢があるのか」を知ることは、非常に重要なことです。

「急がば回れ」との言葉がありますが、問題が複雑であればあるほど、安全で確実な方法を確認しておくことは得策です。

是非、ビジネス・セカンドオピニオンをご活用ください。

専門家の意見は唯一絶対的なものと思いがちですが、専門家の意見ほど多様なものはなく、専門領域が深まるにつれて意見は異なってくることがあるものです。

もし、法律の専門家の意見が同一であるなら「裁判」を行う必要性もなくなります。

(例) 定年退職を迎え、退職金がまとまって手元に入りました。

「その資金で住宅ローンを一括返済したほうがいいのでしょうか？」

それとも

「返済しながら運用したほうがいいのでしょうか？」

繰上返済？ 一部繰上返済？ 返済を継続？

それぞれに理屈があり、正しい主張があります。

正解は無限にあるといっても過言ではありません。

判断 * 見解 * 状況 * 背景 * 智慧 * ? = ∞ (無限)

専門家により見解は異なる

何らかのビジネス課題を専門家に依頼している場合、同じ問題について他の専門家から意見やアドバイスをもらうことは少ないかと思います。

しかし、例えば、医療の分野において、同じ症状であっても、「手術した方良い」という医者もいれば、「薬だけで十分です」という医者がいます。ガン治療にあって、手術をするのか放射線治療をするのかでも同じことが言えます。

専門家によって、問題解決のための方針・方法についての考え方が大きく異なる場合が少なくないのです。

リスクや新たな問題解決法が見つかる

ビジネス課題を伴うような未開領域にはリスクがつきものです。想定しうるリスクをすべて洗い出し、検討したうえで判断するためには、複数の専門家にアドバイスを求めることが適切です。複数の専門家から意見を収集することにより、それまで見えていなかった問題を発見したり、あるいは、既に認識している問題への新たな対応方法が見つかったりする場合があります。

セカンドオピニオンによってベストの意思決定ができる

複数の専門家の意見を採り入れ、そして、リスク評価を漏れなく行うことにより、依頼企業としてベストな選択をすることが可能になります。

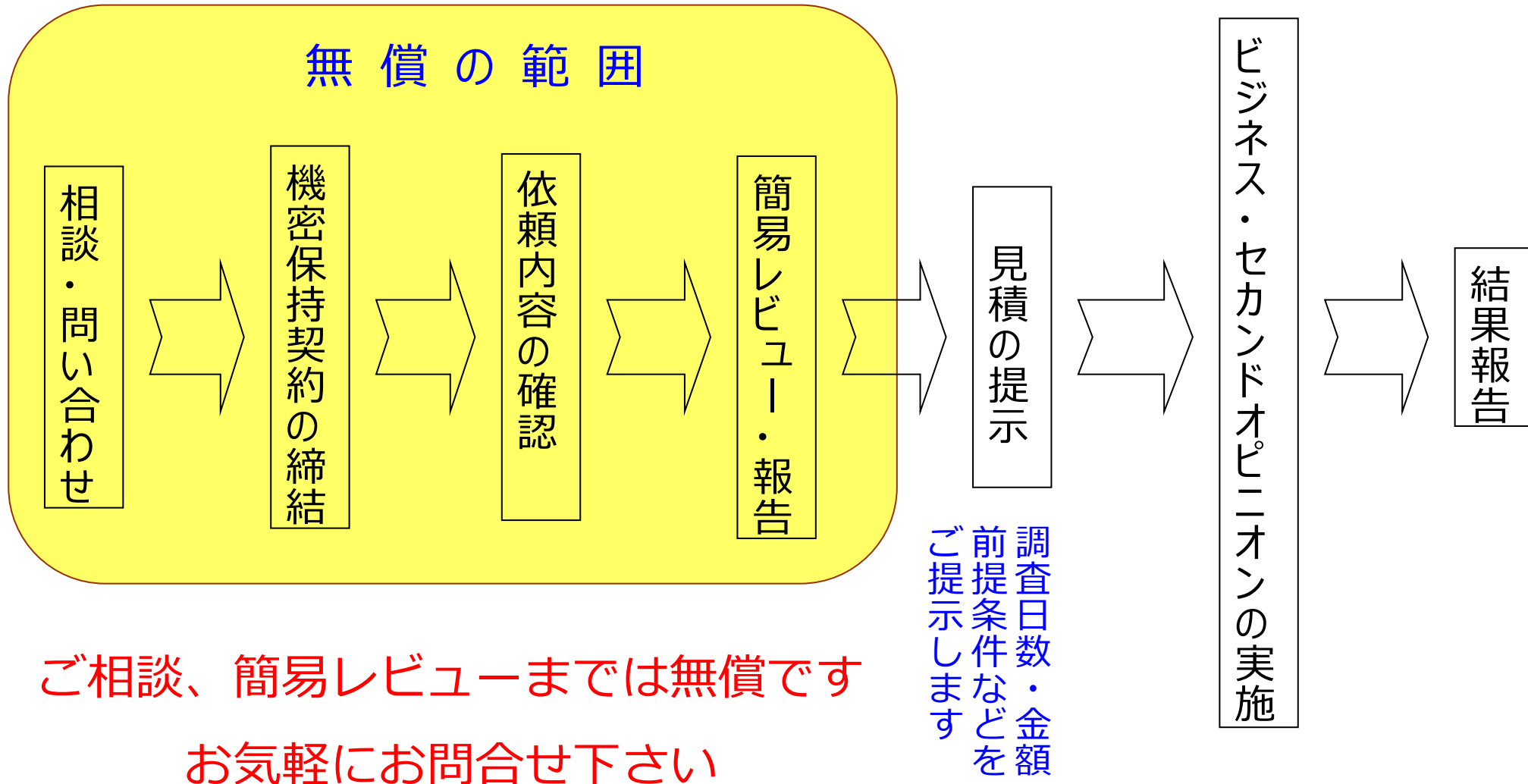
- ✓ 何を聞くのか、何のために聞くのかの目的を明確にする
- ✓ 的確なアドバイスができる人に相談する（友人や身近な人に頼らない）
- ✓ 早い段階で相談する（早期発見・早期治療）
- ✓ 事実や懸念事項は、正直に漏らさず伝える
- ✓ 専門家の意見を鵜呑みにしない（主体性を保つこと）
- ✓ 隠密に行わない



HBSでは、IT(システム)の構築・運用、経営管理、コンプライアンス、法律・会計・税務などの領域で、高品質なセカンドオピニオンをご提供いたします。
これら以外の領域でも提供できる内容もあります。お気軽にお問合せください。

- ✓ ITプロジェクトの進捗が芳しくない、カスタマイズ（アドオン）要件が多い
- ✓ 業務システムの有効活用ができていない、新しいシステムを構築したい
- ✓ 管理業務のあり方、各種規程類を見直したい
- ✓ 今のベンダー（業者）で良いのか、適正性を評価したい
- ✓ ベンダー（業者）の提案書の妥当性を評価してほしい
- ✓ コンプライアンス（内部統制、セキュリティなど）を適正な水準にしたい
- ✓ 経営管理（予算管理、バランススコアカード）を見直したい
- ✓ 投資評価・海外進出に関してアドバイスが欲しい
- ✓ 法律・財務・会計・税務に関する専門家の意見を聞きたい
- ✓ とにかく、第三者の専門家の意見を聞いてみない





Message

ビジネス・セカンドオピニオンを実施するには専門知識と経験が必要です。
ビジネスに精通し、専門知識と経験を有しているばかりでなく、中立性を保てる倫理観、各領域の専門家を探し出せる人脈、経営者・依頼元部門の関係者と調整力が求められます。

広川 敬祐 の 自己紹介

【職 歴】

青山監査法人 東京（プライスウォーターハウス）	1984年～1987年
英和監査法人 大阪（アーサーアンダーセン）	1987年～1994年
SAPジャパン株式会社	1994年～1998年
HBS（Hiro Business Solutions）設立	1998年～ 現在
NTTデータ経営研究所（契約社員）	2007年～ 2012年

公認会計士協会東京会常任幹事、公認会計士協会IT委員会委員歴任

<主な業務経験>

- ・大手企業の会計監査
- ・株式上場支援、内部管理体制の構築
- ・ERPを利用する基幹システムの構築
- ・会計システム（連結・個別・管理）の構築
- ・基幹システムプロジェクト管理計画の立案
- ・IT企業、IT部門向けの研修の企画と実施



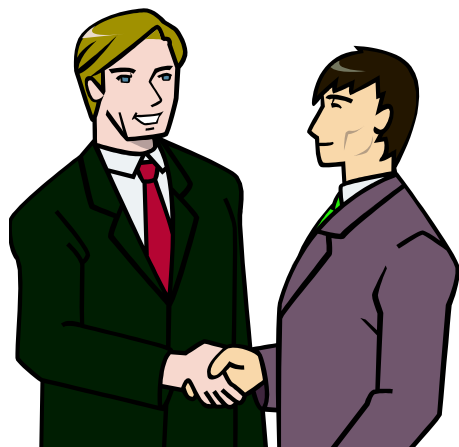
『PRポイント』

- > ビジネスに精通していること
- > 専門知識を有していること
- > 中立性を保てる倫理観があること
- > 人脈が広いこと
- > 対話・調整力があること
- > 誠実であること

ビジネスパートナー募集中



- ・一緒に「ビジネス・セカンドオピニオン」のノウハウを蓄積できる方
- ・「ビジネス・セカンドオピニオン」を受けたい会社を紹介していただける方
- ・「ビジネス・セカンドオピニオン」を一緒に実現していただける方



弁護士、監査法人、金融機関、大学教員、
コンサルタント、等々
ご一緒に「ビジネス・セカンドオピニオン」を
活動していける方を幅広く募集しています。



当書の内容にご関心がある場合
お気軽にご連絡ください。
全国どこでも伺います。

サービス内容の詳細は
ホームページをご覧ください

TEL : 03(6890)0597

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-26
フジビル2階 クロスコープ青山内

Hiro Business Solutions 株式会社

URL : <http://www.hbs.gr.jp/>

Mail : info@hbs.gr.jp